

■ 一般質問 ■

議員の氏名の下に QR コードを掲載しました。一般質問の録画映像をスマートフォン・タブレットなどでご覧いただけます。

スポーツ環境の整備について



長谷川浩

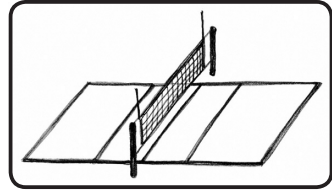


問 体育館のLED照明について。

答 小学校体育館で6校中2校、中学校体育館では1校のLED化が完了。小学校1校は令和3年12月、中学校1校は令和4年1月に完了予定。市の体育館は、4カ所中3カ所が完了。

問 バレーボールの支柱について。

答 市内小学校にあるバレーボールの支柱は、合併前に整備したものが多く、小学生にとっては重い設備であると認識している。学校の器具としてはまだ使用できることから、今すぐ交換する予定はないが、今後、状態を見ながら随時軽い丈夫な支柱に交換したい。



問 バレーボールコートの線について。

答 小学生用バレーボールコートの線については、近年床を改修した小学校2校に専用の線を設置。その他の小学校の体育館については、専用の線を設置していないが、今後、体育館を改修する際に、

学校側との協議の中で検討したい。

市の管理する長岡体育館、葦山体育館については、ラインの基準の異なる様々な競技が行われていることからラインが複雑化するという課題もあるため、関係団体の意見も踏まえ、対応を検討していく。

問 体育館の暗幕について。

答 小学校の体育館は、全て暗幕を設置している。一部の体育館では、支柱がない目線の高さとなる1階フロア部分の窓や足元部分の窓には設置していない。今後、暗幕が一部破損している体育館については、状況を見ながら適宜修繕等を実施していく。

問 葦山体育館の床の状況について。

答 年2回のメンテナンスの実施に加え、市職員の定期的な施設の見回りや葦山中学校や施設利用者からの報告により、不具合等が確認された場合は随時対応している。

問 バスケットボールのゴールの高さ調整ができる箇所について。

答 市内全体12カ所ある体育館のうち、ゴールの高さを調整できる体育館は4カ所。そのうち2カ所は小学校の体育館、1カ所は中学校の体育館、残り1カ所は市の体育館になる。

教育支援センター的機能の設立を



高橋隆子



問 令和2年度、全国小中学生の不登校は19万6千人以上で過去最多。本市の不登校の現状と原因は。

答 令和3年10月末現在、小学生25人、中学生45人。不安の傾向が強い。

問 子どもの成長過程で二元的に切れ目なくサポートする相談体制と周知は。

答 妊娠時、出産後から就学、卒業後も、福祉関係機関や教育委員会が連携して相談体制をとっている。相談窓口の一本化した周知方法を検討したい。

問 適応指導教室の現状と課題は。

答 登録数は9人。1日当たり1人か2人の利用。送迎の困難等、保護者への支援や対応が必要と考える。

問 教育相談、学校教育相談、適応指導教室の運営、教職員の研修等もバックアップする教育支援センター的機能を備えた専門部署の必要性は。

答 今ある教育や福祉の関係諸機関、県、民間とも連携した体制を整えているが、広範囲で多岐にわたるため、市単独での専門部署や人材確保は困難。

各自治体単位ではなく、広域的に専門家を用意する必要性もある。

公共施設をより利用しやすくするには(使用料減免措置等について)

問 令和2年4月の使用料改定以来、負担が増えた利用者から苦情や要望は。

答 いくつかの団体、個人から使用料全額免除や減免率引き上げ等の要望が出されている。

問 スポーツ少年団や社会教育団体等は青少年健全育成や高齢者の健康長寿をめざすまちづくりに重要であり、郷土愛醸成にもつながる。市として推進、支援すべきではないか。

答 受益者負担が基本ではあるが、政策的な配慮、スポーツ振興を含めたまちづくりに大いに関係することなので、今後検討していきたい。

問 利用団体ごと、年間計画で一括予約できないか。

答 団体数が多く、調整は難しい。



避難所運営のリーダー育成 の人材発掘について



小澤五月江



問 専門的スキルを持つ災害ボランティアと防災士のそれぞれの人数は。また、避難所設営からの連携をどのように考えているのか。

答 社会福祉協議会に登録されている災害ボランティアの人数は26人であり、市が把握している防災士の人数は24人である。

これらの方々の専門的スキルを生かして災害時の避難所運営等に積極的に連携を図っていききたい。

問 地域防災力の向上のために意欲のある方々を発掘していく考えは。

答 国では、避難生活支援防災人材育成エコシステムを構築し、このシステムに基づき、避難生活支援リーダーアドバイザー等を育成することとしている。国の動向を注視し、関係団体と調整して人材育成に取り組みたい。

問 避難所生活を想定した避難訓練を実施する考えは。

答 実際の生活を想定した訓練を実施するよう検討していく。

交通事故防止による安心・安全な対策について

問 道路標示や横断歩道、車道と歩行者との境界線の白線が薄くなり見えにくい、補修する考えは。



交差点付近の白線

答 学校周辺の通学路を優先しながら補修を行う計画。横断歩道は、警察に対応してもらおう。

問 事故が起りやすい交差点をカラー塗装にする考えは。

答 カラー塗装には費用がかかるため、有効性や耐久性、経済性を比較、考慮しながら進めていく。

問 もみじ公園の竹林を市民協働で整備する考えについて

答 竹林を整備のみに限らず、公園の清掃や草刈り、花壇の手入れなど、日常的に利用する地域住民が主体的に行い、そこは人が集まり、市民参加の場となり、ひいては公園が地域の財産となると認識している。市民協働による公園づくりを推進していく。

令和2年度決算の評価と 令和3年度予算の 課題について



内田隆久



問 令和3年度予算までは、前市長の下に組まれたものだが、令和2年決算は、実質単年度収支が12億5千万円改善されました。その評価は。

答 コロナ禍で行政活動が余儀なくされたことや、歳出抑制に取り組み措置を講じた。感染症対策、経済対策、生活支援は、国による手厚い財政で賄うことができたと認識している。

問 令和元年度実質単年度収支がマイナス7億1千万円。令和2年度がプラス5億4千万円となって、「コロナ太り」と言われた。歳出抑制が4億円、未実施事業が9億円で不用額（予算額と実際に支出した額の差額）が13億円となったが途中で予測できなかったのか。

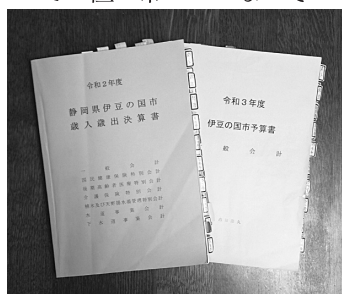
答 財政部局ですべての事業を把握している訳ではないので、最後まで分からない状況だった。

問 民間では、月次の決算を組んで予算管理をしている。他の自治体でもやっているところもある。伊豆の国市はやってないから見えないのでは。

答 月次の決算はやっているが、予算と決算の比較は、毎月どのような推移をしているのかは、なかなかできない。

問 前市政では、コロナは国難で国を中心とした課題として捉え、財源は国の財源でやっていくという考えで、市独自の財源による経済対策は行う考えはなかったと思う。今、政府は「基礎的財政収支にこだわって本当に困っている人を助けたい、未来を担う子ども達に投資しないというようなバカなこととはしない」と言っている。市長に伺うが、今後の経済対策を国の交付金だけでなく、必要があれば市独自の財源を使ってやっていく考えがあるか。

答 放漫な財政運営により、赤字を出して貯金が減り続け、公債費（地方債の元利償還等に要する経費）負担比も上昇を続けるということは避けなければならぬ。経済対策については、国県の動きもあるが、それで足りない部分については、市として積極的にやっていきたい。



伊豆の国市予算書・決算書

令和3年第4回(12月)伊豆の国市議会定例会

令和3年第4回(12月)定例会は11月30日から12月17日までの18日間で行われ、決算の認定、条例の制定や改正、補正予算等について審議及び審査しました。

審議結果・賛否一覧表

議案番号等	議案の名称	審議結果	山口 貴子	長谷川 浩	山本 昭彦	井川 弘二	高橋 隆子	森下 茂	笹原 恵子	八木 基之	二藤 武司	小澤 五月江	柴田 三敏	天野 佐代里	古屋 鋭治	田中 正男	三好 陽子	鈴木 俊治	内田 隆久	
議案第59号	専決処分の報告及び承認について(令和3年度伊豆の国市一般会計補正予算(第8号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	伊豆の国市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	伊豆の国市部設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	伊豆の国市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	伊豆の国市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	伊豆の国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	令和3年度伊豆の国市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	令和3年度伊豆の国市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	令和3年度伊豆の国市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	令和3年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	自治功労表彰について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	田中山辺地に係る総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	葦山し尿処理場解体撤去工事の請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	伊豆の国市江間防災センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	伊豆の国市中島防災センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	伊豆の国市御門防災センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	伊豆の国市まごころ市場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	伊豆の国市葦山生涯学習センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	道路の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	令和3年度伊豆の国市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	令和3年度伊豆の国市一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委提第2号	伊豆の国市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○印は賛成、×印は反対 ※議長(内田隆久)は、採決に加わらない。

議会の動き

【10月】

21日 議会全員協議会、議会報告会実行委員会

【11月】

16日 議会運営委員会

22日 議会運営委員会、議会全員協議会

議会報告会実行委員会

30日 令和3年議会第4回(12月)定例会開会
(11月30日から12月17日)

【12月】

6日 議会報告会実行委員会

7日 福祉文教経済委員会

8日 総務観光建設委員会

16日 議会運営委員会

17日 令和3年議会第4回(12月)定例会閉会

議会全員協議会

【1月】

12日・14日・17日

議会だより特別委員会

議会だより特別委員会

【委員長】高橋 隆子
【副委員長】井川 弘二
【委員(長谷川 浩)】柴田 三敏
【委員(山口 貴子)】森下 茂

次回議会の予定

令和4年議会 第1回(3月)定例会

- ・ 2月22日(火) 議会初日
- ・ 3月7日(月) 一般質問初日
- ・ 3月16日(水) 議会最終日

※正式な日程は、定例会前に開かれる議会運営委員会で決定し、市ホームページに掲載します。

議会初日・一般質問・議会最終日は「FMいずのくに」によるラジオ生放送と、インターネットによる生中継の映像配信を行います。